

令和7年度 銚子市保健対策推進協議会議事録

1 日時 令和8年3月18日(水) 13時30分～15時

2 場所 銚子市保健福祉センター2階会議室

3 出席者

団体等	氏名	所属等
学識経験者	安藤 智子	千葉科学大学看護学部学部長
医療関係団体	高橋 宏資	銚子市歯科医師会会長
	関 大輔	銚子市薬剤師会会長
教育関係団体	高野 美樹子	銚子市小中学校校長会会長
保健関係団体	佐久間 節子	銚子市食生活健康推進協議会副会長
関係行政団体	小野 康予	千葉県海匝保健所次長
その他市長が認めた者	稲葉 康晃	銚子商工会議所事務局長

事務局

健康づくり課 島田課長、健康・地域医療推進室 東福寺室長、保健事業室 山田室長、
健康づくり支援班 椎名主任保健師(班長)、鈴木主任保健師、食の健康推進班 宮内主査(班長)

4 内容

(1) 健康づくり課長あいさつ

(2) 会長・副会長選出

銚子市附属機関の設置等に関する条例第4条第1項の規定により会長、副会長を選出。
事務局より、会長に兒玉委員、副会長に高野委員を提案した。
委員より異議なし。進行は本日欠席の兒玉会長の代理として高野副会長に依頼した。

(3) 会議の公開・非公開

附属機関の原則等について事務局より説明し、公開・録音について委員から了承を得た。
※傍聴人なし

(4) 議 事

- ① 事務局から「銚子健康プランの進捗状況と今後の計画」について説明
- ② 事務局から「新型インフルエンザ等行動計画の改定について」説明
- ③ 意見交換

安藤委員	【銚子健康プランの進捗状況と今後の計画】 小中学校でのがん教育に関して、今年度1校ずつ実施したとのことだが、毎年同じ学校に実施しているのか、巡回制としているのか伺いたい。また、学校においてがん教育をカリキュラムに組み入れるのは難しいか。
------	--

高野副会長	がん教育をカリキュラムに組み入れるのは、中学校は学習指導要領にあるが、小学校は生活科や家庭科の中で、病気の予防や禁煙などのテーマに分かれているので、広義のがん教育の1つとして、教員が実施していることになる。
椎名班長	実施校は小中学校いずれも毎年同じ学校から依頼を受けて実施している。
高橋委員	特定健診後の要医療者における医療機関受診率が約50%とのことで、受診に向けたアプローチはどのように行っているのか。
鈴木保健師	要医療者全員に紹介状を発行し、3か月以上経過後も未受診者に対して、電話や訪問による受診勧奨を行っている。
高橋委員	本人が受診の重要性についてわかっていないことが原因ではないか。病気についての知識を伝えないと、今が重症化予防のチャンスということを知らない。糖尿病に対する意識が薄いことへのアプローチをしたら受診率が上がるのではないか。
安藤委員	未受診理由の1つに、かかりつけ医に過去受診した際、服薬開始にならないと、「この程度なら大丈夫」と言われ、自己判断で未受診が続くケースがある。腎専門医は危機感があるが、かかりつけ医からの助言も未受診に影響しているのではないか。
鈴木保健師	高橋委員からの助言内容について、紹介状発行時に全数面接しているため、専門職の指導内容に反映させられるよう、共有していきたい。安藤委員からの指摘については、紹介状発行基準については、かかりつけ医である医師会員の助言を得て設定しており、特定健診・成人事業検討会でも例年周知しているため、その傾向は以前よりは薄れてきたと感じる。引き続き、医師会との連携を図っていきたい。 また、他の未受診理由に経済的困窮を挙げられる方もいるため、医療費の説明など行えるように医療専門職の指導の質向上を図りたい。
関委員	銚子健康プラン策定にあたり、議員は関与しているか。
山田室長	策定後に情報提供を行っている。
関委員	家族性の糖尿病など、食事療法のみでは高血糖改善が難しい患者もいるため、糖尿病当事者含めた議員からの意見を取り入れ、策定にあたってもらいたい。
安藤委員	災害時における防災食の普及啓発は必要性が高いトピックである。食生活健康推進員の活動において、どのように周知しているか伺いたい。
佐久間委員	住民周知に向けて、まずは推進員同士での学習会として、防災士資格のある推進員が講師となり、防災について勉強した。その上で、防災レシピの普及について、各地区での活動の中で調理実習などを実施した。今後も普及に力を入れていきたい。
安藤委員	今後、千葉科学大学学生向けにも啓発してもらいたい。
佐久間委員	ぜひその旨を協議会に依頼して欲しい。
安藤委員	食育推進計画の中で、第一次産業従事者へのアプローチについて記載されていたが、商工会議所が関わる対象は第三次産業従事者が多いのか。
稲葉委員	基本的には第二次産業や第三次従事者の対象が多い。法人会加入者向けと非加入者で、生活習慣病予防健診を実施している。非加入者は30名前後の受診、法人会加入者は別途細かいオプション等もあり、より多い受診数となっている。
安藤委員	行政で、第一次産業に特化してアプローチすることになった経緯を伺いたい。

宮内班長	<p>特定健診受診票の職業欄項目を活用して分析した結果、第一次産業従事者のHbA1c検査値や問診項目が有意に悪かった。また特定保健指導やJA健診会場面接において、第一次産業従事者の間食や加糖飲料を常飲する習慣が多い傾向に感じた。アプローチと併せて、また来年度に第一次産業従事者の解析を実施予定とする。</p>
安藤委員	<p>良い取り組みであるので、今後も継続されたい。</p>
小野委員	<p>インセンティブ制度について、伺いたい。</p>
鈴木保健師	<p>インセンティブは一般的に「褒美、褒賞」の意味となる。特定保健指導においては、評価面接時に、①体重-2kg、腹囲-2cm 達成者、②体重・家庭血圧・歩数記録表を毎日記載した者に対して、景品を付与する。景品内容は毎年変更しており、減塩醤油皿や歩数計、五本指ソックス等、健康増進に関わる景品をプレゼントすることで、健康増進に関する習慣を継続して欲しいというねらいがある。</p>
小野委員	<p>海匝保健所に赴任してから、市街をウォーキングしようと思ったことが何度かある。その時に、ウォーキングスポットやイオン等ショッピングモールにある「スタートから〇〇km」といった標識で、ウォーキングする人の支援になるようなものがあつたら良いと感じた。</p>
東福寺室長	<p>市長も政策協議の際、ご指摘のようなウォカブルなまちづくりについて言及している。本件については、都市整備部局との連携が必要な政策課題だと考えている。</p>
安藤委員	<p>健康な方だけではなく、高齢者など休憩しながらの運動が必要な方向けに、ベンチのような休憩場所を設けることも必要と感じる。</p>
佐久間委員	<p>ウォーキングに関連して、食生活健康推進員も小学校区ごとにウォーキングマップを作成した。マップには所要歩行時間や観光ポイントなども掲載しており、保健福祉センター1階に掲示してあるので、ご覧いただきたい。</p>
安藤委員	<p>紙媒体だけでなく、市街の電柱等に QR コードを貼付し、そこから km 数やマップが見られるようにすると、色々な世代が知ることができるのではないかと。</p>
高橋委員	<p>ポピュレーションアプローチの具体例について、伺いたい。</p>
鈴木保健師	<p>ハイリスクアプローチの対になる用語で、個別に早急な対応が必要なハイリスクアプローチと異なり、ハイリスクの有無や改善の必要性、健康への関心の有無に関わらず、健康増進の情報提供を行うことを指す。具体的にはプラチナ体操など住民が集まる場所での集団健康教育やホームページ等への周知が挙げられる。</p>
関委員	<p>ポピュレーションアプローチに関連して、子どもの頃すでに「糖尿病自体が怖いのではなく、糖尿病合併症が怖い」と知っていたイメージがある。糖尿病以外にもタバコの害など、子どもの方が自然と頭に入って学んでもらえるのではないかと。例えば、学校の保健室での掲示などが効果的ではないかと。</p>
高野委員	<p>ぜひ学校現場においても、検討していければと思う。</p>
安藤委員	<p>新規に始まる推定一日食塩摂取量検査の具体的活用について伺いたい。</p>
鈴木保健師	<p>各健診で実施される尿検査にて同時に行うことができるので、受診者の追加負担はないことがメリットである。具体的な活用方法については、大きく3点ある。1点目は健診会場での健康教育スライドに減塩教育を盛り込むこと、2点目は市独自の周</p>

安藤委員	<p>知パンフレットを作成し、健診結果返却時に説明すること、3点目は集団教育や SNS において受診者の結果傾向を伝えながら減塩啓発を行うことを想定している。</p> <p>良い取り組みだと思うので、頑張ってください。</p>
小野委員	<p>【新型インフルエンザ等行動計画の改定について】</p> <p>千葉県計画との関係性や他に細かい対応マニュアルがあるのか等、策定後の活用状況について伺いたい。</p>
東福寺室長	<p>本計画は国が定めた市町村向け計画ひな形に基づいて、策定している。本計画とは別に「予防接種対応マニュアル」があるため、そちらについては本計画改定を踏まえて次年度に改訂予定としている。改訂次第、関係機関に周知させていただくのでご協力をお願いしたい。</p>
安藤委員 東福寺室長	<p>改訂前との違いを伺いたい。</p> <p>今回の改訂で国が定めたモデル計画に沿って全面改訂したので、ほぼ全編異なる様式となっている。</p>
安藤委員	<p>計画 P3から記載のある「平時の備えの整理や拡充」について、三師会等の関係機関と銚子市の連携が大事だと考えるが、具体的な連携方法を伺いたい。また、計画内でも挙げられている「情報収集・共有、分析の基盤となる DX 化」について、どのように整備・連携するのも併せて伺いたい。</p>
東福寺室長	<p>新型インフルエンザ等の行動計画の改定後には、下位計画である集団接種マニュアルを改定する必要がある。新型コロナウイルス蔓延前に開催されていた新型インフルエンザ等連絡会議を開くなどして三師会連携のもと、進めてまいりたい。DX化については、予防接種予診票のマイナンバー連携等が進められている流れがあるので、自治体や医療機関でシステム管理できるように体制整備に努めていきたい。</p>
安藤委員 小野委員	<p>感染症病床の整備について伺いたい。</p>
関委員	<p>海匝保健所でもコロナ禍を経て、各保健所で健康危機対処計画を策定している。その中で迅速な情報連携のための DX 化を目指し、会議体を活用しようと思っている。銚子市も参画メンバーとなると思うため、今後も連携していきたい。</p>
東福寺室長	<p>新型感染症になると、新たな薬剤が必要となってくるが、都道府県から市町村に割り当てられた後に、個別薬局等に届く際にマイナポータル等の連携に基づき、より円滑な手続きとしたいため、国への意見上申の場があれば、伝えていただきたい。</p> <p>ワクチン等薬剤の配送について、本計画の中でも配送に関する記載もあるので、ご確認いただきたい。</p> <p style="text-align: right;">以上で、議事は終了</p>